

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パステルブチブレイグランド			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 3月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童保護者からの信頼と満足度	毎回の訪問を最低2時間以上実施し、時間軸にあわせた行動観察を丁寧に記述して保護者に配布している。事前に園で見えてほしいこと、先生に聞いてきてほしいことの聞き取りをして、訪問の後は、ご報告させていただいている。	現在、訪問時の行動観察や報告を丁寧に言い、保護者との密なコミュニケーションを実施している。さらなる充実のために訪問のフィードバックを定期的に収集し、保護者の具体的な要望を把握することで、支援内容の改善に活かす。
2	訪問園からの信頼と満足度	数年来、訪問児童が変わっても同じ園に何うことで、園との信頼関係ができている場合は、訪問員も先生方もカンファレンスがとてもしやすい。心理検査の結果の読み取りなども、園の先生方にできる限り詳しく説明させていただいている。就学支援シートの記入のし方についてもアドバイスさせていただいている園がある。	継続的に訪問することで園との信頼関係が築かれているが、さらに効果的な連携を図るよう努めていく。心理検査の結果を活かした支援の方法など実践に役立つ知識を提供していきたい。
3	経験豊富な専門職員による訪問	療育や小学校の特別支援に精通している保育士1名と心理士1名が、主に訪問を担当している。園の環境調整への助言、保護者と園との間に入ってお伝えする役割など、多岐にわたって訪問先でお話させていただいている。	訪問員向けの研修を充実させ、最新の療育・発達支援の知識を継続的にアップデートする。さらに、職員同士の連携を強化し、複数の視点からのアプローチを取り入れる。訪問事例を蓄積し、職員間での情報共有を促進することで、より効果的な支援を実現する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問担当の職員の数が限られている	経験豊富な訪問員が少ないことと、療育担当の保育士は勤務体制的に訪問になかなか行けない。	事業所内で、同じクオリティで訪問ができる人材養成を行い保育所等訪問の利用希望対象児童のニーズに答えていく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名

パステルプチブレイブランド

公表日 令和 7年 3月 28日

利用児童数

11

回収数

5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1		1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	1		1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5					
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3			2		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5					
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5					
	28	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7年 3月 28日

パステルプチプレイブランド

利用児童数

11

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7			対象児の姿を見て、具体的にアドバイス を頂けることはとてもありがたいです。 今ある状況の中で行えることを具体的に アドバイスしていただいた。 振り返りワークシートがいつもとても見 やすかったです。	園の状況に合わせて具体的に助言する ことで集団生活している子どもの利益 になるよう、引き続き子どもの様子に あった助言をしていく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			的確なアドバイスを頂けていて、保育を する上でとても参考になります。 パターンによって複数の案を出していた だき、とても参考になった。	支援内容については、園の状況、担当 の先生の経験等にあわせてで選択して いただけるよう、複数の案が提示でき るようにしていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7			定期的に訪問して、その時の姿について アドバイスを頂けるので、とてもありが たいです。 私達の考え、思いを聞いた上での適切な アドバイスをいただいた。	子どもの成長（発達）に合わせて質問 に答えていくことを引き続き実施して いく。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7			実際に頂いたアドバイスを実践してみる ことで、対象児の姿も変わってきていて 効果を感じます。 上手くアドバイスを生かしかれていない こともありますが、軽減解消されたこと も多かったです。	園の課題に合わせて実施しやすい対応 を伝えていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			保護者の方と園とをつないで頂いて、よ り良い保育ができています。 とても勉強になりました。 ありがとうございました。	園と家庭が子供のために協力していけ るように事業所という立場で引き続 き、支援していく。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>いつも丁寧でわかりやすく本児の成長や課題についてお話して下さいました。</p> <p>また、保護者の方への伝え方等もアドバイスをいただき、適切なタイミングで面談を行うことができました。常に子どもたち、保育者に対して暖かく優しく接して下さいいみんなお会いできる日をが楽しみでした。ありがとうございました。</p> <p>卒園、就学が近くなってきたことで、保護者の方が抱える不安なども具体的に伝えて頂けて、とても助かります。就学に向けてより良い保育ができるようこれからも様々な姿を共有し、助言をいただけると幸いです。</p> <p>園へ訪問していただく事は主に保護者支援の観点からだと認識していますが、園では伝えきれないお子さんの様子を伝えていただけた事で安心していただけたと感じています。ありがとうございました。</p> <p>クラスの特徴・環境を見た上で、本児へのアドバイスだけでなく、友だちとの関係性を考慮したアドバイスをいただきました。</p> <p>また、様々な時間帯での様子を見に来ていただくなど、担任の思いも丁寧に汲んでいただきました。1年間ありがとうございました。</p>					<p>訪問園の職員体制やクラスの集団状況、子どもの年齢に合わせて支援するようにしていく。</p> <p>児童指導員・保育士と心理担当職員など多職種での訪問支援連携の実施も続けていく。</p> <p>就学前の時期には、特に保護者支援を園と協力して実施していく。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 バステルプチブレイブランド 公表日 令和 7年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			写真や資料などに限定されて（内容は適切） 実物や見本になる教材などの準備不足あり。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		報告は、毎週のミーティングで療育担当職員にも伝えており、訪問員と密に共有している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		経験豊富な保育士と心理士が、新規訪問担当の職員に同行の上、観察やアドバイスのポイントを伝えて、スキルアップできている。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員と保護者の要望、園の要望もすり合わせて、計画を作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達心理検査を事業所内で実施し、療育開始時との比較も含めて、日々の園での行動観察の様子から想定できるアドバイスを共有している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画データは事業所内の共有フォルダで見ることが出来、共有しやすい状況になっている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に事業所での様子や保護者の様子の聞き取りをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		即日には難しい時もあるが、毎週のミーティングで必ず打合せをしている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		幼稚園・保育園の理念は必ずHP等で確認し、事前に読むようにしている。先生方の要望に合わせて支援している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録は子供の会話等も記録し、園にも子どもにも短期的、長期的支援に繋げるように心がけている	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要に応じて保護者面談を実施している。訪問の園には、こちらが保護者に伝えた内容まで報告し、園の意向と齟齬が無いかを確認している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		特に事業所の近くの小学校には、実際に出向いて利用児童の申し送りをしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		杉並区の研修の告知、チラシ配布は必ず行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問時に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成時に保護者と面談をして、計画についてお伝えしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		事業所イベント等には、利用児童の兄弟姉妹を積極的に受け入れ、保護者（普段送迎のできない父など）とも、職員が積極的に普段の療育の様子をお伝えし、家庭の様子を聞き取っている。	父母会の設置は無い。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		通信SNSは無いが今後LINEを始める予定。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		園の方には、いつでも困ったら連絡を下さいと伝えている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			園の保育体制を優先しているので、行わない場合もあるが、行う場合が多い。

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		振り返り報告書を作成して、丁寧にお伝えしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		相手（訪問先）の計画（数ヶ月分）や行事日程などを確認し、助言している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日ヒヤリハットを記入し会議（ミーティング）で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			外部研修に出席した職員がミーティングにて共有できているので適切な対応をしているが、全員が外部の虐待研修を受けられるように取り組んでいく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	いかなる理由があろうとも、身体拘束は行っていない	